

質疑応答(要旨)

Q1	新規事業を創出する際に既存事業との相乗効果、シナジーが大切なのではないかと感じている。 既存事業で培った技術を活かして、新規事業に進出する方法もあると思うが、事業創出について社長の考えを伺いたい。
A1	既存事業との相乗効果について、当社は新規事業を創出する際、既存の技術・ノウハウを活かして取り組んでいく方針であり、LiB再生事業においても貴金属事業や環境事業で培った技術・ノウハウを活用できていると考えている。 我々が企業全体で取り組むのは資源循環社会への貢献であり、貴金属事業、環境事業、LiB再生事業はいずれも循環型社会への貢献という観点で取り組んでいる。 また、今後取り組んでいく新規事業も同じ観点で取り組むことで、全体的なシナジーや外部から見た一貫性を確保できると考えている。
Q2	LiB再生事業において、「アライアンス締結」という表現が使われているが、これは他社との資本関係までを見込んで使用しているのか？ 他社に吸収されたり、技術の流出が起こらないか懸念している。
A2	LiB再生事業においては、自動車メーカーや電池メーカー等を含めた大きな枠組みの形成を目指している。 現時点で資本関係については具体的な検討は行われていないが、協業検討先と交渉を進める中で最も良いと思われる形態を模索していきたいと考えている。 枠組みの形成においても、当社の強みや残すべき風土はしっかりと残していきたいと考えている。
Q3	株価について、直近1年間はほとんど右肩下がりで推移していると認識しているが、 社長はこの株価の推移をどのように受け止め、今後どのような対策を取るつもりなのかを教えてください。
A3	株価の変動につきましては私自身認識しているが、株価は株式市場における取引の結果であるため、株価に対するコメントは差し控えさせていただく。 一方で、株主の皆様へ利益を還元することは、重要な政策であると強く認識している。 既存事業の収益力向上、LiB再生事業の事業化および収益化により、当社業績を向上させていくことが 株価上昇につながる可能性があるものと考えている。 なお、LiB再生事業における研究開発の成果については、2023年8月10日にCO ₂ の排出量を大幅に削減しつつ、レアメタルを高い回収率で回収可能な独自の工程についてプレスリリースさせていただいており、この技術は当社のLiB再生事業における競争力になるものであると認識している。
Q4	2023年9月期中に人事制度の改革を行い、社員が自発的にチャレンジできる環境を整えているとのことだが、 新人事制度の導入後にどのような変化があったのかを教えてください。 また、チャレンジできる環境づくりについては、役員も社員と共に取り組んでいるのか。
A4	新人事制度を導入したのは2023年4月であり、現時点では新制度の評価を終えていない段階であるため、 新人事制度の成果は明確にお答えできない。 今後、新人事制度のブラッシュアップと並行して、それぞれの従業員の成長を促すように人材育成制度の確立に取り組むことで、より成果が期待できるものと考えている。 役員一同、チャレンジできる環境づくりに真摯に取り組んでくれていると認識している。

(ご留意事項)

この資料は、弊社説明会にご出席できなかった方のためのご参考として掲載しているものであり、説明会でお話した内容をそのまま文章に起こしたものではありませんことをご了承ください。